

別記様式第1号

《プロジェクト名 耕畜連携による地産地消SGSプロジェクト》

市町村	真室川町	対象地域	真室川町全域	分野	畜産
実施主体名	さんらいずふぁーむ	代表者氏名	高橋直樹	住所／連絡先	真室川町川の内1605-1 Tel:0233-62-4141
実施主体構成	さんらいずふぁーむ 2名				

プロジェクト	産出額(増加額)	2,317千円 (9,968千円)				
目標(5年後)	独自目標の項目を記載	水田フル活用対策として飼料用米(ソフトグレインサイレージ(SGS))の生産拡大を図り、町内畜産農家の飼料自給量の向上を図り生産コストを低減する。				
各年次目標	現 状	1年目(H21)	2年目(H22)	3年目(H23)	4年目(H24)	最終年(H25)
	産出額	2,317千円	3,510千円	10,530千円	12,285千円	12,285千円
	栽培面積	6.6ha	10.ha	30.ha	35.ha	35.ha
プロジェクトの概要	◎実施方針	真室川町では今後10年間で真室川町の和牛繁殖牛を1,000頭、肥育牛を500頭まで増頭、乳牛については頭数は維持とし産乳能力の改良による生産拡大を推進する計画であり、当組織の構成員や利用農家も本計画に基づき増頭を計画している。				
	○産出額の増大	ソフトグレインサイレージ(SGS)による地産地消の産出額2,317千円→12,285千円(購入飼料費が地域内に還元される)				
	○雇用の創出	オペレータの確保(平成25年雇用人数 0.06人/日)				
	○創意工夫	町内の耕畜連携によるソフトグレインサイレージ(SGS)の地産地消技術の確立が図られる。				
	○実現性	和牛増頭が現在進行中であり、更なる自給飼料の生産拡大の意欲高揚が図られている。				
	○地域への波及効果	水田の条件不利地の有効活用と生産性向上が図られる。				
	○その他	水田機能の維持、生産性向上と耕畜連携が図られ、外部から購入していた飼料費を町内に還元することができる。				

事業計画		実施年度(平成21年度)	実施年度(平成 年度)
	事業内容	SGS専用収穫機(良質稲わら収集用オプション含む)の導入	